

今回の新人戦は今まで練習してきた成果を発揮する大会でした。大会前は不安や緊張があったのですが仲間の声やベンチからの応援が力になり、チーム一丸になることが出来ました。

結果としては本大会に出場することができてとても嬉しいです。けれども準々決勝で足立学園高等学校と対戦し、1クォーター、2クォーターまでは互角の勝負をすることができていたのですが3クォーターではシュートが全く入らず3対33で3クォーターが終わりました。最終的に45対98で負けてしまいました。そこでチームとしてや個人としての課題がはっきり見えました。

試合中で感じたことは（修正能力の大切さ）です。良いプレーができた時にはそれを続けてさらに勢いを出すことが出来ました。逆にミスをしてターンオーバーをしてしまった時や、なかなか自分たちのペースにならず相手のペースになったときに自分たちで修正が上手くできませんでした。この修正能力の課題は新チーム始まった時からの課題でなかなか直すことができていません。本大会までには自分達でゲームを作り、自分たちで修正する力を身につけていきたいと思います。

また個人面での反省もあります。それは1対1の強さとシュートの精度です。1対1ではショットクロックが残り少ない中ボールを持った時にドライブで相手を抜きフィニッシュまで行くことがなかなかできませんでした。シュートの精度ではジャンプシュートやスリーポイントが入らなくなってきた、力が入り硬いシュートになってしまい、そこで焦りで難しいシュートを打って自分の持ち味が出せませんでした。ドライブのスキルやシュートの精度を見直すことが必要だと改めて感じました。

新人戦を通して感じたことは勝つチームになるためには強いチームよりも何倍も練習をすることが大切だと思いました。そこで、これからは本大会に向けての練習では1回1回の練習を無駄にせず、自分たちの課題であった修正能力や個人の反省などを練習から何を変えられるかを考えて行動していきたいと思います。

今回の新人戦で沢山の課題が見つかったので治していき、さらに強いチームになりたいと思います。そして本大会ではチームやみんなが成長した成果を自信持ってコートにたっていい結果になるように頑張っていきたいと思います。

橘高校の応援をよろしくお願いします。